

今年度相模原南児童ホームからは小学生3名、中学生6名、職員3名が南相馬と海老名の交流キャンプのお手伝いに参加しました。2日目と3日目の2グループに分かれ、私は3日目に中学生5名と職員2名で参加させていただきました。

夕食の仕込みの手伝いやバーベキューの洗い物、テントの片づけ等のお手伝いをする中で、頼まれた仕事を協力して割り振りテキパキと動く子どもたちの姿は「さすが中学生。」と思わせるものがあり、とても頼り甲斐がありました。一方で待ち時間には外で男女一緒になって「だるまさんが転んだ」をしたり、セミを捕まえたりと子どもらしい一面も見られました。

子どもたちにとってボランティアをするという体験はとても貴重なものになったと思います。日々の生活でも子どもたちが園の草刈りや清掃、食事の配膳等手伝いをしてくれることがあります。中には「仕方なくやってあげた。」と言う子どももいます。始めはそこからのスタートでも、やっていくうちに「ありがとう」という感謝の気持ちを受け取り、自分が誰かの役に立てている、必要とされているということを少しでも子どもたちが感じる事が出来たらいいなと思います。

相模原南児童ホーム 職員 梅田幸子